

## ベジフル SAGA (2024 年 9 月号) ～ブドウ栽培管理～

先月から引き続きトンネル・露地ブドウの収穫・出荷に取り組まれているかと思います。高温が続いていることで、脱粒や枝梗枯れが発生しやすくなりますので、丁寧な取り扱いと自家選別を徹底してください。

近年は収穫後の高温乾燥により、樹勢の低下が問題となっています。収穫後も園地へ足を運び、かん水等収穫後の管理に取り組んでください。

また、連日気温の高い日が続いております。9月に入っても熱中症のリスクはありますので、こまめな休憩や水分補給を心がけてください。

### 【トンネル・露地】

#### ○収穫・出荷

収穫前は、確実に糖酸分析を行い、収穫適期判断の目安にしてください。収穫は鮮度を保持するために果実温度が低い早朝に行い、収穫した果実については直射日光を避け、果実温度が上がらないように管理しましょう。

出荷作業（パック・箱詰め）は、涼しい場所（クーラーなどの効いた部屋）で行い、果粉が取れないよう丁寧に扱い、脱粒や枝梗枯れの混入に気を付けてください。

シャインマスカットについては、黄緑色系品種のため、着色のみでは収穫時期の判断が難しい品種です。そのため、専用のカラーチャートを用いるとともに、糖酸分析を行い、糖度 18 度に達したものから収穫を行い、品質第一の出荷を心がけてください。

#### ○礼肥

収穫後の樹勢の早期回復、秋根の発生や葉の維持のために礼肥を行います。収穫後から今月中旬までを目安に、即効性肥料を用い窒素成分 2～3 kg/10a 程度の施用を行ってください。樹勢が強く遅伸びしている樹は、樹勢に合わせて施肥量を抑えてください。苦土欠乏症対策としては、硫マグを 10a 当たり 10～20 kg 施用します。施用後はかん水を十分に行い、根域への浸透を図り吸収を促進させましょう。

#### ○土づくり

収穫後の発根促進のために、早めに土づくりに取り掛かりましょう。特に土壌が固く締まっている園は、根が伸長しにくいいため、タコソボ深耕（1 樹あたり 3～4 か所の穴をあけ、土壌改良剤の投入）等で、細根発生を促してください。

土壌が乾燥しますので処理と併せてかん水を行ってください。

## ●収穫後管理【ハウス・トンネル・露地】

### ○水管理

秋季は秋根が伸長し、翌年に向けての貯蔵養分が蓄積される時期です。しかし、降雨が少なく過乾燥状態が続くと秋根の伸長や、貯蔵養分蓄積が妨げられ、翌年の樹体の動き出しが悪くなります。本年は、昨年秋季の乾燥、かん水不足に起因する、花芽の着生不足や発芽、開花の不揃いがみられました。

樹勢回復や貯蔵養分蓄積を促進するため、過乾燥とならないように、収穫後もかん水を行いましょう。こまめなかん水が難しい場合や乾燥しやすい園では、株元を敷きわら等で覆って土壤水分を保持しまししょう。

### ○新梢管理

貯蔵養分を蓄積するためには、遅伸びをさせず、健全な葉を維持することが重要です。収穫後も伸長を続けている新梢や、棚面を暗くしている長大な新梢は種枝として充実不足になるため、1.5~2m程度残して摘心するか、先端を棚下へおろして伸長を抑えてください。副梢は2~3枚程度残して摘心を行ってください。

### ○病虫害防除：ハウスブドウ

〈べと病〉

・IC ボルドー66D (50倍) +アビオン E (1000倍)

### ○病虫害防除：トンネル・露地

〈トラカミキリ、べと病〉

・スミチオン水和剤 (1000倍) +IC ボルドー66D (50倍) +アビオン E (1000倍)

※使用する薬剤は地区によって異なる場合がありますので、詳しくは最寄りのJAや農業振興センターへご相談ください。また、散布前に登録内容や注意事項をご確認ください。